

アンケート結果から見える多文化共生の最前線
～静岡県多文化共生基礎調査2016の詳細分析報告会～

2017年10月24日(火)@静岡県教育会館

日本人調査から見える 多文化共生意識の変容

池上重弘

(静岡文化芸術大学)

1 はじめに ～報告の目的～

- 日本人調査の結果を紹介
- 多文化共生意識に関する項目の回答に焦点
 - 多文化共生に関する意見
 - 外国人住民増加の影響
 - 2009年調査と2016年調査で差が大きい項目に注目
- 「体感治安」をめぐる意識と実態
 - 冷静な実態把握が重要

多文化共生政策の課題群

- 労働政策
 - 雇用対策、労働保険
- 社会保障政策
 - 医療や年金、生活扶助、住宅保障
- 教育政策
 - 子どもに対する教育
 - 大人に対する教育(公用語習得)
- 受け入れ社会に対する政策
 - 人権尊重、異文化理解促進
 - 多文化共生意識の醸成

3

2 日本人調査の概略

2-1 対象

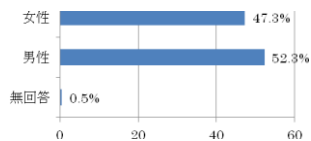
- 浜松市、静岡市、掛川市、富士市、沼津市
- 日本人調査は無作為抽出で2,000部郵送
- 16歳以上の日本人県民の方が対象
- 回答数879部(回収率44.1%)
- そのうち有効回答数は874部
- 以下のグラフは874部に対する比率(%)

2-2 日本人調査の調査項目

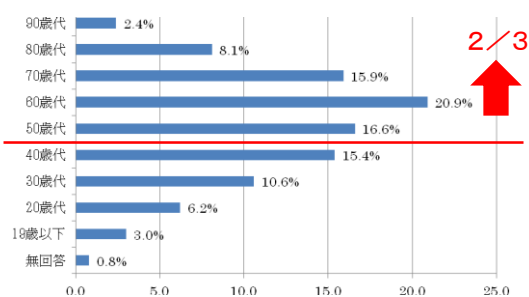
基本属性	性別、年齢、居住市、 子どもころの居住地、通算滞在年数、 現在の居住形態、自治会加入、 婚姻状況、配偶者の国籍、学歴、 就業形態、職業、週あたりの労働時間、 従業員数、平均収入、5年後の生活の見込み
多文化共生に関わること	外国での居住経験 日常生活での英語使用 外国人との付き合い 外国人と顔を合わせる頻度 外国人への親しみ 多文化共生に関する意見 行政の取り組むべき課題 外国人増加の影響

3 回答者の基本属性

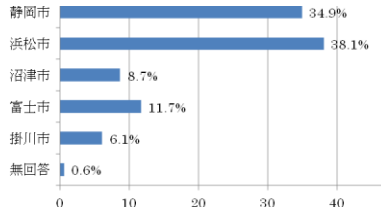
性別は男性が若干多い
男性52%、女性47%



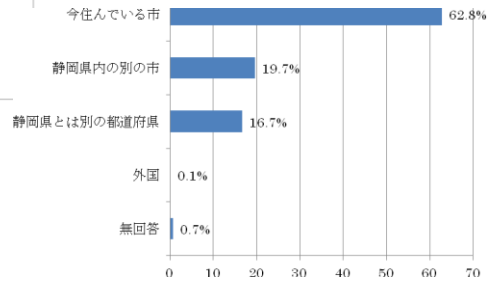
年齢は60代が21%で最多
50代以上が64%とほぼ3分の2



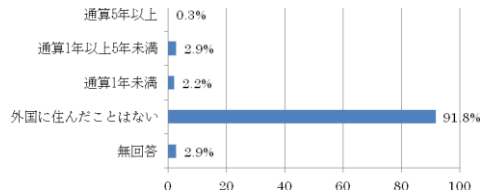
回答者の居住する市は
浜松市38%、静岡市35%



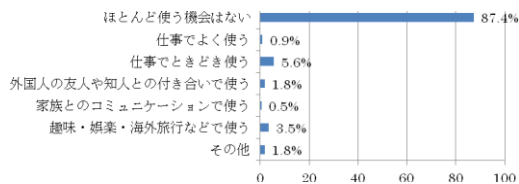
子どもの頃(16歳まで)住んでいたのは、63%が今住んでいる市
8割以上が県内出身者で、地理的流動性が低い。



4 外国人の知り合いの有無と外国人に対する親しみ



「外国での生活経験なし」
は92%で圧倒多数
この傾向は2009年調査と
ほぼ変わっていない



英語については87%が
「ほとんど使う機会はない」

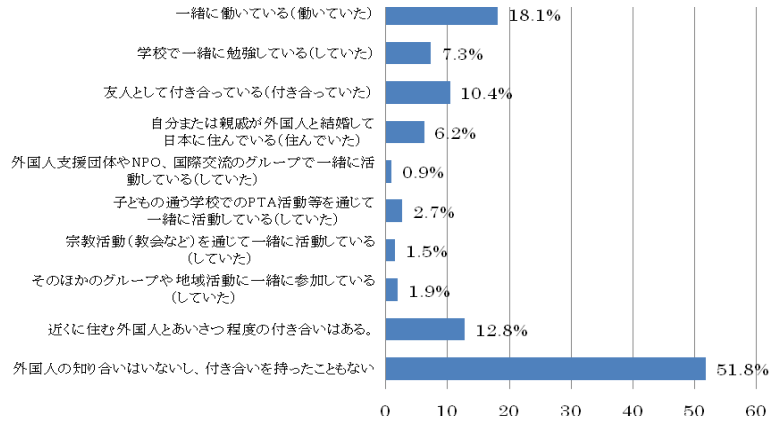
外国人との付き合い

52%:「知り合いはいないし、付き合いもない」

18%:就労の場で付き合い

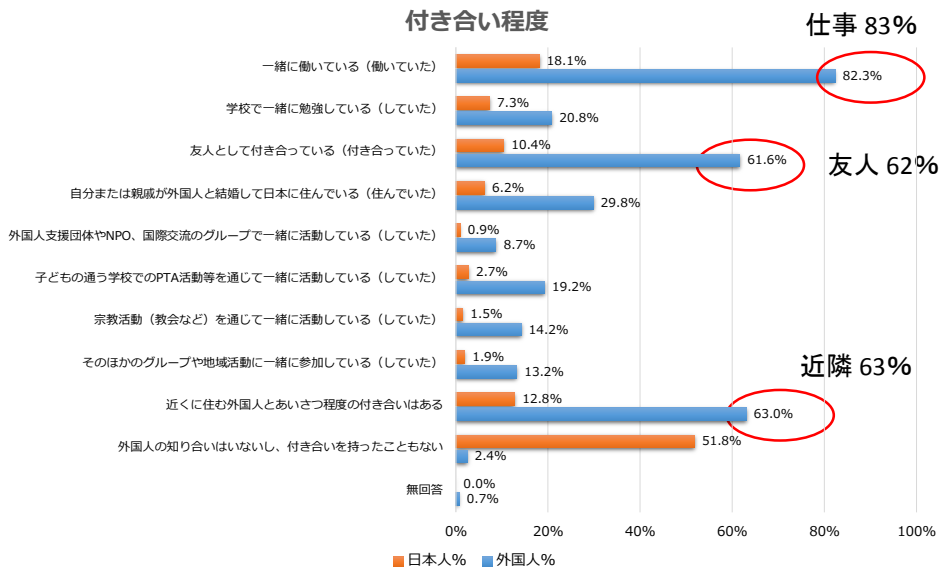
13%:近隣であいさつ程度の付き合い

10%:友人として付き合い



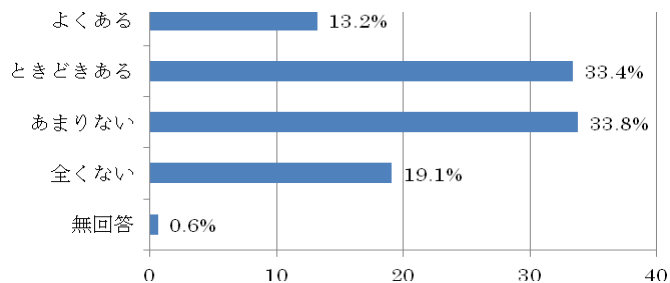
付き合いの程度を日本人調査／外国人調査で比較

(2016年日本人)問10 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(複数回答)



生活地域で外国人と顔を合わせる機会

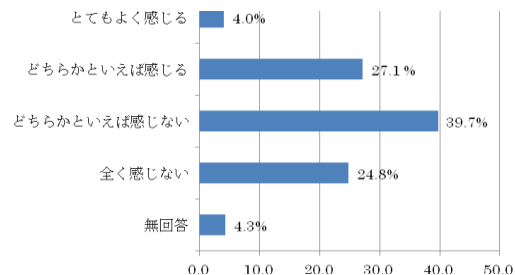
「よくある」「ときどきある」人は47%
「あまりない」「全くない」人は53%



地域で暮らす外国人への親しみ

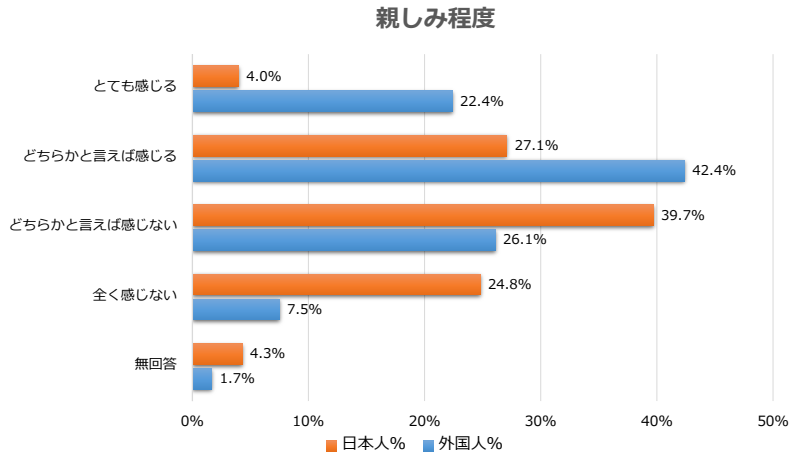
「どちらかと言えば感じない」が40%で最多
「全く感じない」25%と合計した否定的回答が6割を超える。
前回2009年調査では、「どちらかと言えば感じない」20%、
「全く感じない」13%で、否定的回答は33%。
2016年調査は否定的回答がほぼ2倍になっている。

ただし、2009年調査では47%が「どちらとも言えない」に回答。
また「とてもよく感じる」は2009年も2016年も4%で同程度だが、「どちらかと言えば感じる」は
2009年の14%から2016年の27%にほぼ2倍となっている。



外国人は日本人に対して親しみを感ずる人が多い。 日本人の認識と対照的な結果。

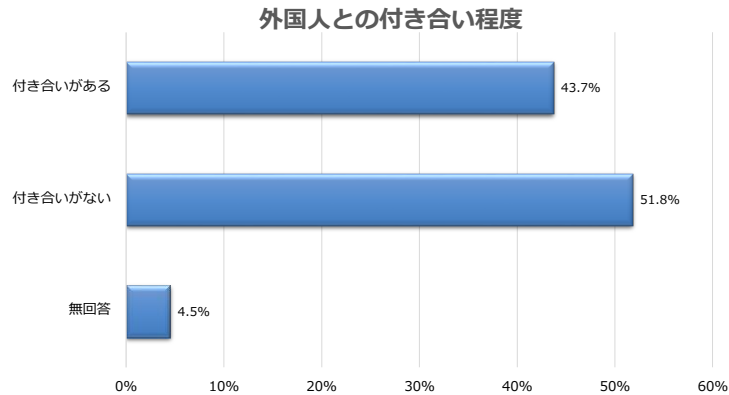
(2016年日本人)問12 地域で暮らす外国人（外国人回答者に対しては日本人）について、どの程度親しみを感ずりますか。



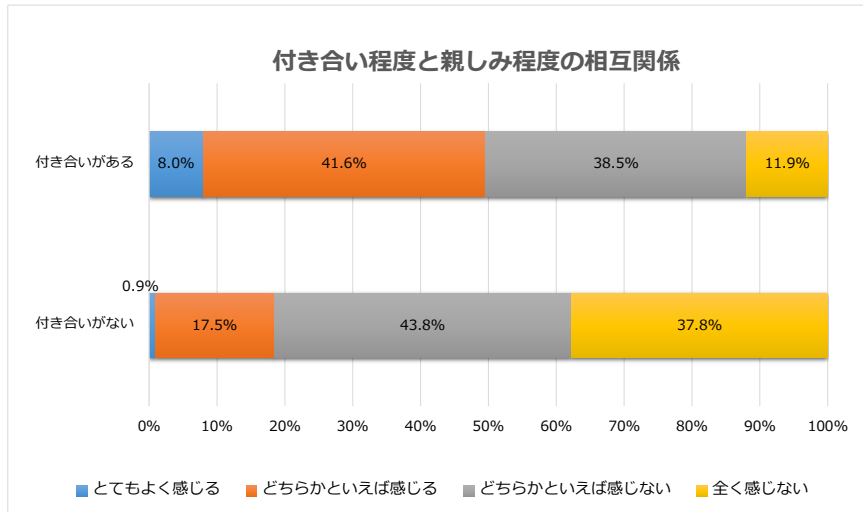
外国人との付き合いの有無でグループ化

- ・なんらかの付き合いがある 44%
- ・付き合いがない 52%

(2016年日本人)問10 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。（複数回答）



付き合いがあるグループ: 親しみを感じる人が5割
 付き合いがないグループ: 親しみを感じない人が8割
 全く感じない人も4割弱



小括

- 日本人回答者の多くは「地元民」
- 海外での生活経験は乏しく地理的流動性低い
- 約半数が外国人との付き合いなし
- 地域で暮らす外国人への親しみは、6割が否定的回答(2009年調査時より倍増)
- 外国人と付き合いのある人は肯定的回答増加



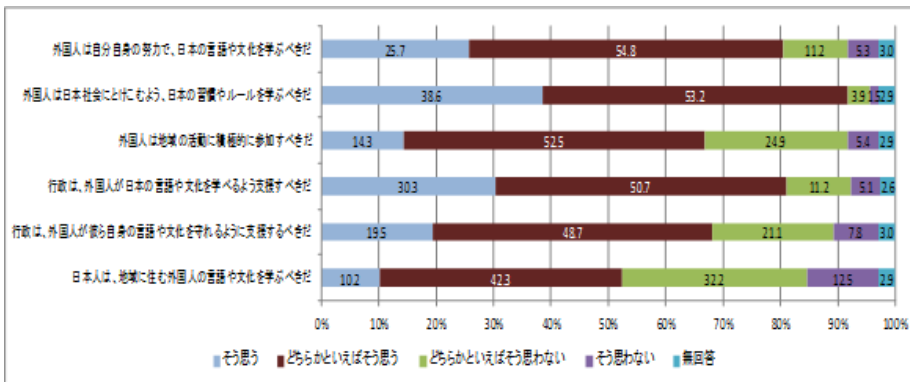
- 外国人側は日本人との交流に好意的
- 外国人との接点づくりが大切

5 多文化共生に関する意見

～次の意見についてどう思いますか～

- (1)【同化主義】
 - 外国人は自分自身の努力で、日本の言語や文化を学ぶべきだ
- (2)【同化主義】
 - 外国人は日本社会にとけこむよう、日本の習慣やルールを学ぶべきだ
- (3)【統合】
 - 外国人は地域の活動に積極的に参加すべきだ
- (4)【統合】
 - 行政は、外国人が日本の言語や文化を学べるよう支援すべきだ
- (5)【多文化主義】
 - 行政は、外国人が彼ら自身の言語や文化を守れるように支援するべきだ
- (6)【多文化主義】
 - 日本人は、地域に住む外国人の言語や文化を学ぶべきだ

多文化共生に関する意見



「日本語や日本文化を学ぶべき」が8割

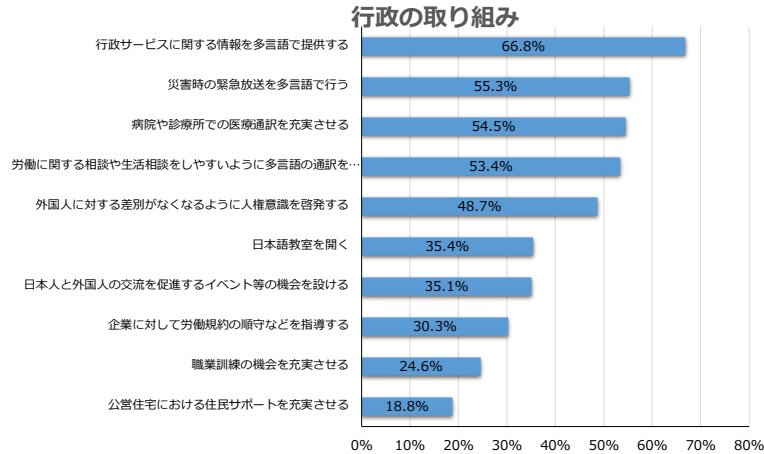
「習慣・ルールを学ぶべき」が9割

一方、「地域活動への参加を求める」のは7割弱

「行政による日本語学習支援」は8割、母語・母文化支援は7割

行政が取り組むべきこと 多言語情報提供が67%でトップ

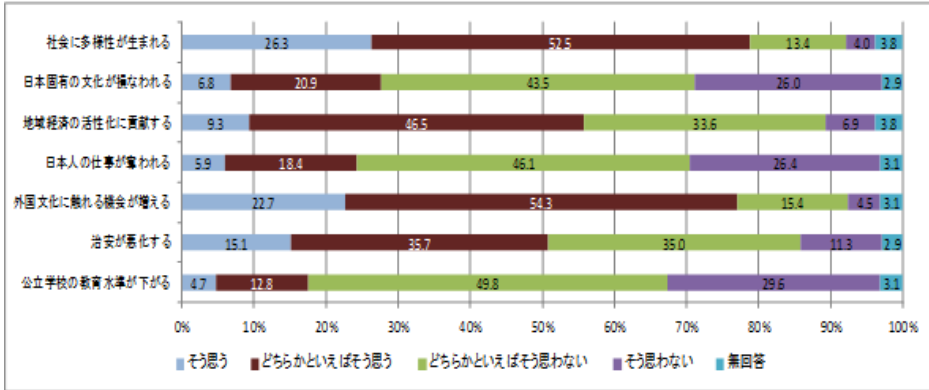
(2016年日本人)問14 日本人住民と外国人住民が共に暮らしやすい地域社会にしていくために、県や市町など行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)



6 外国人増加の影響 ～次のような影響についてどう思いますか～

- (1) 社会に多様性が生まれる
- (2) 日本固有の文化が損なわれる
- (3) 地域経済の活性化に貢献する
- (4) 日本人の仕事が奪われる
- (5) 外国文化に触れる機会が増える
- (6) 治安が悪化する
- (7) 公立学校の教育水準が下がる

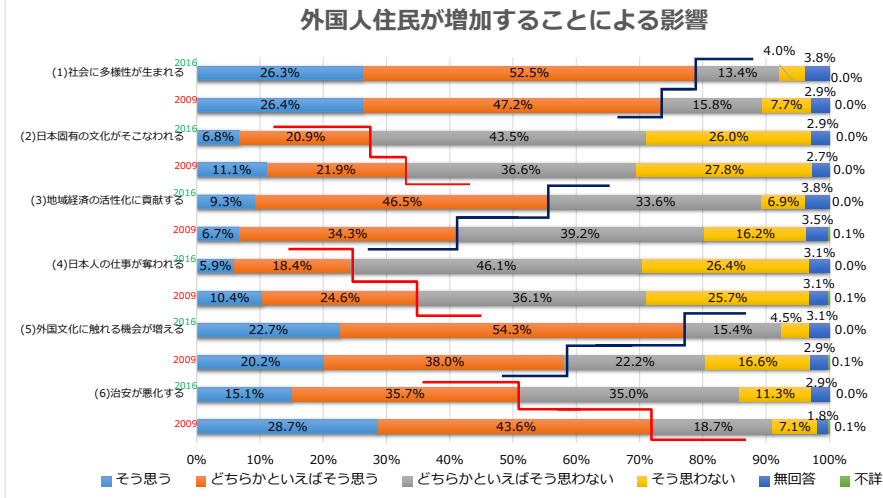
外国人増加の影響



多様性や外国文化と触れる機会増加が8割弱
 日本文化や日本人の仕事への脅威を感じるのは2割台と少ない
 外国人の存在は日本人の雇用を脅かすものではなく、日本人の
 参入しない場で外国人が働き、経済を支えている認識が広まる
 一方、治安悪化の懸念は半々
 学校教育の水準低下を心配するのは2割弱

2016で増加: 就労面の効果の認識、外国文化接触機会 2016で減少: 固有文化への影響、治安悪化への懸念

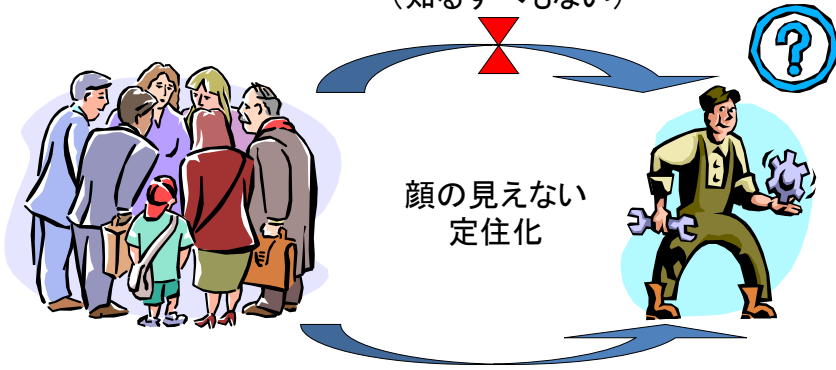
(2016年日本人)問15 外国人住民が増加することによる影響についてあなたはどのように思いますか。



7 「顔の見えない」関係の危うさ

目の前に住む外国人を知ろうとしない

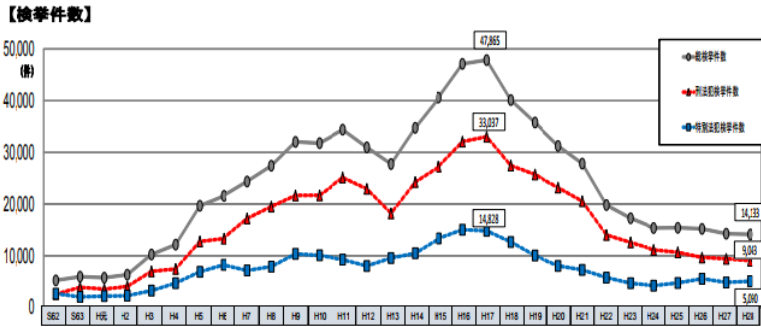
(知るすべもない)



マスメディアで報道される否定的イメージを投影 ... 「外国人は怖い！」

来日外国人の検挙件数の推移(2016年)

図表 4-1 来日外国人犯罪の検挙状況の推移



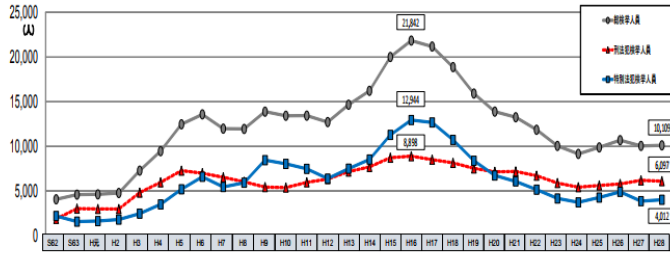
	S2	S3	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
総検挙件数	5,237	5,963	5,765	6,345	10,244	12,153	19,671	21,574	24,374	27,414	32,033	31,779	34,398	27,763
刑法犯検挙件数	2,567	3,906	3,572	4,264	6,990	7,457	12,771	13,321	17,213	19,513	21,670	21,689	25,135	18,199
特別法犯検挙件数	2,670	2,057	2,193	2,281	3,254	4,696	6,900	8,253	7,161	7,901	10,363	10,090	9,263	9,564

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	増減数	増減率
総検挙件数	34,746	40,615	47,128	47,865	40,128	35,782	31,252	27,836	19,309	17,272	15,368	15,419	15,215	14,267	14,133	-134	-0.9%
刑法犯検挙件数	24,258	27,258	32,087	33,037	27,453	25,730	23,202	20,561	14,325	12,582	11,142	10,674	9,664	9,417	9,043	-374	-4.0%
特別法犯検挙件数	10,488	13,357	15,041	14,828	12,675	10,052	8,050	7,275	5,784	4,690	4,226	4,745	5,551	4,850	5,090	240	4.9%

出典：警察庁『平成28年における組織犯罪の情勢【確定版】』2017年3月 P.82
<https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/kikakubunseki/sotaiikaku01/h28.sotaijyousei.pdf>

来日外国人の検挙人員の推移(2016年)

【検挙人員】



【趨勢】

2004(H16)年、
2005(H17)年を
ピークとして、
検挙件数も
検挙人員も

減少！

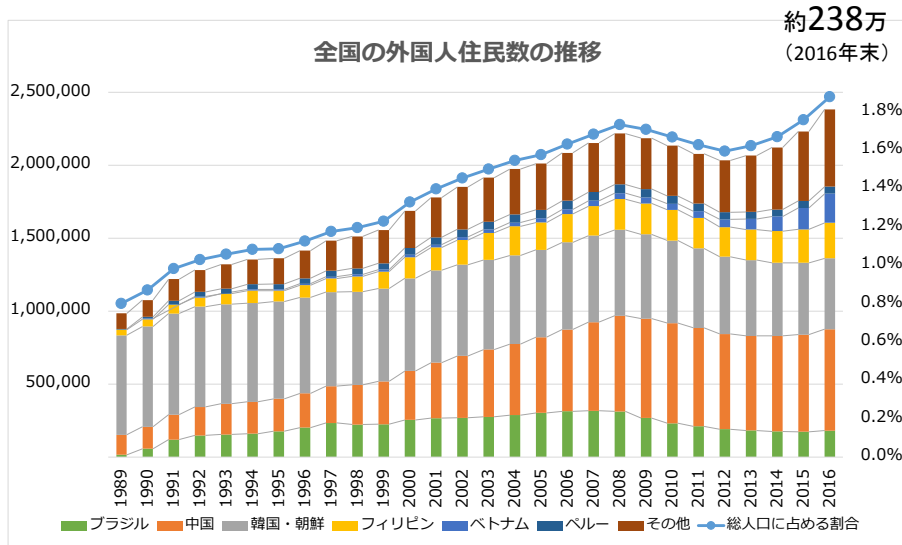
	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
総検挙人員	4,062	4,586	4,616	4,770	7,270	9,456	12,467	13,576	11,976	11,949	13,883	13,416	13,436	12,711	14,660
司法官検挙人員	1,871	3,020	2,960	2,978	4,815	5,961	7,276	6,989	6,527	6,020	5,435	5,362	5,963	6,329	7,168
特別法官検挙人員	2,191	1,566	1,656	1,792	2,457	3,495	5,191	6,587	5,449	5,929	8,448	8,054	7,473	6,382	7,492

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	増減率	増減率
総検挙人員	16,212	20,007	21,842	21,178	18,872	15,914	13,885	13,257	11,858	10,048	9,149	9,884	10,689	10,042	10,109	67	0.7%
司法官検挙人員	7,680	8,725	8,896	8,505	8,148	7,528	7,148	7,190	6,710	5,889	5,423	5,620	5,787	6,187	6,097	-90	-1.5%
特別法官検挙人員	8,532	11,282	12,944	12,673	10,724	8,386	6,737	6,067	5,148	4,159	3,726	4,264	4,902	3,855	4,012	157	4.1%

出典：警察庁『平成28年における組織犯罪の情勢【確定値版】』2017年3月 P.82
<https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/kikakubunseki/sotaikikaku01/h28.sotaijousei.pdf>

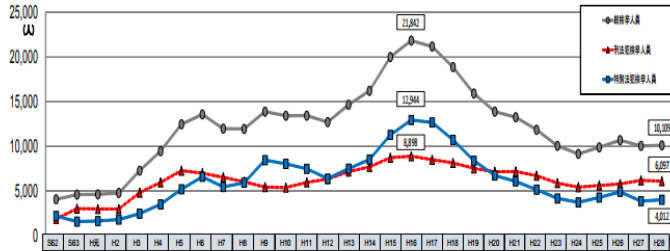
在留外国人数の推移(各年末現在)

2008年秋の金融危機を契機に減少、2011年3月の東日本大震災も拍車
 しかし、2013年以降、再び増加傾向



来日外国人の検挙人員の推移(2016年)

【検挙人員】



【趨勢】

2004(H16)年、
2005(H17)年を
ピークとして、
検挙件数も
検挙人員も
減少!

	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
総 検 挙 人 員	4,062	4,586	4,616	4,770	7,270	9,456	12,467	13,576	11,676	11,949	13,883	13,416	13,436	12,711	14,660
刑 法 犯 検 挙 人 員	1,871	3,020	2,969	2,976	4,815	5,961	7,276	6,989	6,527	6,026	5,435	5,362	5,963	6,329	7,168
特 別 法 犯 検 挙 人 員	2,191	1,566	1,626	1,762	2,427	3,495	5,191	6,587	5,449	5,923	8,448	8,036	7,473	6,382	7,492

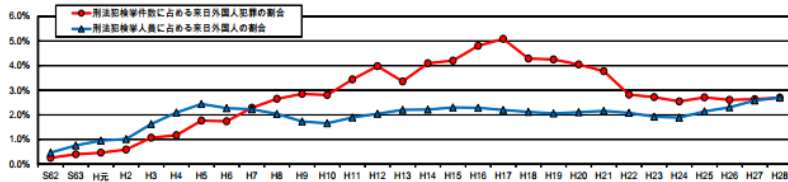
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	増減率	増減率
総 検 挙 人 員	16,212	20,007	21,842	21,178	18,872	15,914	13,885	13,257	11,858	10,048	9,149	9,884	10,689	10,042	10,109	67	0.7%
刑 法 犯 検 挙 人 員	7,690	8,725	8,896	8,505	8,148	7,528	7,148	7,190	6,710	5,889	5,423	5,620	5,787	6,187	6,097	-90	-1.5%
特 別 法 犯 検 挙 人 員	8,522	11,282	12,944	12,673	10,724	8,386	6,737	6,067	5,148	4,159	3,726	4,264	4,902	3,855	4,012	157	4.1%

出典：警察庁『平成28年における組織犯罪の情勢【確定値版】』2017年3月 P.82
<https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/kikakubunseki/sotaikikaku01/h28.sotaijousei.pdf>

刑法犯検挙に占める来日外国人犯罪 検挙人員はここ20年、2%前後で推移

平成28年中の刑法犯検挙（日本人等の検挙を含む。）に占める来日外国人犯罪の割合は、検挙件数が2.7%（前年比0.1ポイント上昇）、検挙人員が2.7%（同0.1ポイント上昇）となっている（図表4-2）。

図表4-2 刑法犯検挙（日本人等の検挙を含む。）に占める来日外国人犯罪の割合の推移



	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
刑法犯検挙件数に占める来日外国人犯罪の割合	0.2%	0.4%	0.5%	0.6%	1.1%	1.2%	1.8%	1.7%	2.3%	2.7%	2.9%	2.8%	3.4%	4.0%	3.4%
刑法犯検挙人員に占める来日外国人の割合	0.5%	0.8%	1.0%	1.0%	1.8%	2.1%	2.4%	2.3%	2.2%	2.0%	1.7%	1.7%	1.9%	2.0%	2.2%

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
刑法犯検挙件数に占める来日外国人犯罪の割合	4.1%	4.2%	4.8%	5.1%	4.3%	4.2%	4.0%	3.8%	2.8%	2.7%	2.5%	2.7%	2.6%	2.8%	2.7%
刑法犯検挙人員に占める来日外国人の割合	2.2%	2.3%	2.3%	2.2%	2.1%	2.1%	2.1%	2.2%	2.1%	1.9%	1.8%	2.1%	2.3%	2.6%	2.7%

出典：警察庁『平成28年における組織犯罪の情勢【確定値版】』2017年3月 P.83
<https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/kikakubunseki/sotaikikaku01/h28.sotaijousei.pdf>

全国(2013年)と静岡県(2012年)の来日外国人犯罪の検挙件数比較

出典：警察庁『来日外国人犯罪の検挙状況(平成25年)』p.76及び静岡県警本部提供資料

罪種・法令別		2013年全国		2012年静岡県	
		検挙件数	(比率)	検挙件数	(比率)
刑法犯	凶悪犯(殺人・強盗・放火等)	128	0.8%	5	0.9%
	粗暴犯(暴行・傷害・恐喝等)	920	6.0%	34	6.4%
	窃盗犯(侵入および非侵入)	7,744	50.2%	279	52.2%
	知能犯(詐欺・横領・偽造等)	595	3.9%	13	2.4%
	風俗犯	97	0.6%	4	0.7%
	その他	1,190	7.7%	31	5.8%
小計		10,674	69.2%	366	68.5%
特別 法 犯	入管法	3,232	21.0%	96	18.0%
	薬物関係法	513	3.3%	35	6.6%
	その他(風適法、銃刀法を含む)	1,000	6.5%	37	6.9%
	小計	4,745	30.8%	168	31.5%
合計		15,419	100.0%	534	100.0%

- ・刑法犯と特別法犯はほぼ7:3。
- ・窃盗犯と入管法違反で約7割。
- ・検挙人員では、総数9,884人の約3割(2,825人)が入管法違反

来日外国人と日本人(永住者含む)の 刑法犯検挙数比較

出典：警察庁『来日外国人犯罪の検挙状況(平成25年)』

2013(H25)年 検挙件数	検挙総数 (件)	来日外国人 検挙件数	10万人 あたりの 検挙数	日本人 (永住者含む) 検挙件数	10万人 あたりの 検挙数
刑法犯総数	394,123	10,674	96	383,449	305
凶悪犯	5,128	128	1	5,000	4
粗暴犯	48,487	920	8	47,567	38
窃盗犯	254,824	7,744	70	247,080	197
知能犯	22,060	595	5	21,465	17
風俗犯	7,023	97	1	6,926	6
その他	56,601	1,190	11	55,411	44

来日外国人：訪日外国人＋永住資格のない日本在住外国人

2013年は10,363,904人(以下の主要5ヶ国)＋701,713人＝11,065,617人

中国(台湾・香港含む)、韓国・朝鮮、フィリピン、ベトナム、ブラジル

日本人(永住者含む)：日本国籍者＋永住資格を持つ外国人

冷静に捉える目を

- 外国人による凶悪事件が発生しているのは事実
- しかし「外国人犯罪」の多くは
甚大な刑法犯とは異なる区分
で起きている
- 安易な「外国人犯罪増加」認識は
「外国人＝犯罪者」イメージに転化し、
目の前の外国人に投影されてしまう

8 まとめ

- 外国人が日本語、地域の生活習慣を学ぶことを求める声が多い。
- 外国人の増加を日本文化や日本人の仕事への脅威と捉える人は多くない。
- しかし、治安悪化と結びつける人は過半数。
 - 犯罪統計の実態と異なる「体感治安」
 - 事実を周知し、多文化共生の推進が必要
 - 日本人に親しみを感じる外国人との接点づくりから「顔の見える関係」構築へ